

市長と地域の懇談会【厚生】

・開催日 令和2年9月25日（金） 19:00～20:15

・まちづくり協議会区域名 厚生地区まちづくりの会

・会場 厚生中学校 けやきホール

・参加者 13人

《質問・意見》

・中心市街地の活性化について

厚生地区まちづくりの会の一番の関心事は、中心市街地の活性化であると思う。

我々の年代は、駅前の再開発ビルの計画は2回目のことであり、気がかりである。

- ・駅前の再開発ビルの建物が段々と建ってくるなかで、ペーパーベースの計画段階の時は中心市街地活性化計画の中で話があったが、未だに地元への説明は一度もない。
- ・伝え聞くところによると、議会との間で紛糾していると聞いている。建設が進む中、中身は大丈夫かと素朴な疑問も生まれてきている。聞きたいのは、進捗状況と今後の方向性。また、市として中身はどうなっていくのかを市長からご説明いただきたい。
- ・福祉の拠点を駅前で整備するのであれば、一市民の意見として、スペースがあれば社協も含め、福祉の資源を一元化してワンストップの形で全てが完結する形が、高齢者にとってはありがたいと率直に思う。もし、それが無理であれば、極論であるが福祉を止めて、産業部の商工労政課も入れて、観光の拠点基地とするのも良いのかなと思う。
- ・社協は入らないのか。耐震性の問題で、1年前には社協は移るようなことを聞いたがどうなのか。地域一体となって進めてもらいたい。

《回答》

- ・市の中心市街地の再開発は、旧三交百貨店跡の三交インのA地区、建設中のB地区、球友堂さんからのC地区の3つの区分に分かれて再開発を進めている。A地区の三交インはオープンし、コロナ禍の前で9割以上の稼働率で良い状況であるが、課題のB地区は、B地区の施工している方々は、コロナ禍の関係でテナントの入りで苦しんでいる状況です。
- ・市とすると2つの目的があり、中心市街地における再開発ビルの建設を成就させることが一つ、もう一つが福祉の相談機能を駅前に入居して、まちなかに福祉の拠点をつくることにより、もう1回コンパクトシティでネットワーク化をつくって、中心市街地の再生に結び付けていきたいという目的にさせていただいている。
- ・現在、施行会社の資金計画が苦しく、市でも何とかサポートしてもらえないかとの話をいただいている。許認可は三重県に関わってもらっている、金融機関などに相談しながら、できるだけ時間をかけずに解決をしていって、議案を提出し、なんとかお認めいた

だけのような環境をつくっていきたいと考えている。

- ・三交百貨店が閉まってから 20 年くらい今の状況が続いていて、今回のチャンスを逃すと次のチャンスは見つからないのではないかと考えている。次の C 地区にも影響を及ぼすのではないかと、危機感を持って交渉を進めている。状況を引き延ばしたりするつもりではなく、大切な税金の拠出なので、適正な価格で市民の理解をいただけるような形で進めていけたらと思っている。

《質問・意見》

- ・私の考えだが、せつかく福祉の拠点施設として福祉関係を集めて駅前で始めるという話で、中身がどうなっているか解らないが、できればスペースがあるのであれば、福祉関係を一元化、ワンストップみたいな形で、高齢者にとっては公共交通機関も周りがあるので、社協がそこにあれば全てそこで収まるのではないかと思う。この問題は本庁、これは駅前、これは福祉健康センターというような縦割り行政でなく、折角つくるのであれば、全てが完結できるような方向になってくれれば、ありがたいと思う。たぶんそういう意見もあったと思うが、もしダメなのであれば、極論だが福祉を止めて産業部の関係の商工労政課など入れて、駅前に観光の拠点施設として、その二つに一つが良いかなと思う。一市民の意見です。

《回答》

- ・ワンストップのイメージを目標にすすめている。
- ・社協の件は、まだちょっとで要調整のところである。

《質問・意見》

- ・社協は入れないか？耐久性がないということで移ると一年前に聞いた気がする。できれば社協全部含めて。
- ・サ高住もダメだと思ふし、たぶん、がらんだりのビルが建つのではないかと心配している。そうだと施工者も大変だと思ふので、地域と一体化して進めていきたいと思ふので、我々も市に協力したいと思ふ。

《質問・意見》

- ・まちづくり協議会の存在、そのものについてお聞きしたい。本日の新聞で、まちづくり協議会の脱会について議会で質問があったとのことだが、「まちづくり協議会の組織の一員と考えているが、町会がまち協から脱退するかどうか」という質問だったと思ひます。答弁では、「条例には規定がないので退会入会は自由である」とのことだったと思ひますが、風の便りでは、市内のまちづくり協議会で、まち協と町会が必ずしも上手くいっていないところや、あまり町会が関わっていないところがあると聞いたりする。色んなところで、まち協において町会が積極的に関わっていないという実感がある。
- ・厚生地区では、それぞれの町会が目的を共有して、みんな協力しながら取り組んでいるが、23 地区に急にまちづくり協議会ができたので、目的の共有ができていないのではないかと思ふ。もう一度、町に任すのではなく、市が指導にした方が良くと思ふ。

まち協の事務局として質問させていただいた。

《回答》

- ・まちづくり協議会の状況には、それぞれの地域の自治会活動が色んな形で行われているのが現状で千差万別である。
- ・もう一度、まち協のこれまでを振り返り、これからどうしていくのか、課題・目標を一度テーブルにあげて整理整頓が必要である。
- ・一方で、時代によってこういう形がいいと言い切れるものでもないので、皆さんで話し合いも必要で、自治のしくみも時代時代により変わってきたりもする。条例でまちづくり協議会の財源も担保してきているので、横のネットワークもつくっていききたい。どういう形が正しいかではなく、好ましいのかも含め、もう一度、検討が必要である。

《質問・意見》

- ・例えば、厚生学区で考えると、宮後町や一之木町は町会としてやっていける。大きい町なので、自分の町ファーストでやろうと思えばやれる。そうではなく、まち協の存在価値、目的を共有する中で、みんなで協力してやっています。町会長さんも月に何回か寄っていただいて話もしている。
- ・退会があるというようなまち協が伝染みたいが増えていくと、伊勢市のまち協のそのもののあり方、存在価値にも多少亀裂が生じるのではないかと。全部につくるということで一気にできたので、各まち協であまり目的の共有がされてないのではないかと感じる。

《質問・意見》

- ・厚生地区は高齢者が多いので空き家になっていく家が多い。それがだんだん朽ちてきて、大変危険な状態になっている空き家も沢山ある。
- ・調べていくと財産放棄していると聞く。財産放棄をしても管理責任はあるそうだが、そうすると売るにしても何にしても、全く手が出せない状態になる。
- ・管理責任を放棄してもらって、間に人を立ててくれたらいいのにと意見を聞いた。そういうことを市ですていただけないかと思っているが、どうでしょうか？

《回答》

- ・人を一人置いてということは分からないが、個人的な気持ちで言えば、朽ちてきた家は、（まあまあ）撤去していくべきだと思います。防犯上も危ないし、火事も起こりやすかったり、防災上など色々なことを考えると、街の価値を落としていくので撤去していくべきだと思いますが、市ができる方法として、空き家対策の法律が4年くらい前にでき、建物も強制的にどけること（法律上は行政代執行）もできる。裁判所への申し立て等をし、財産などを調べて色々すると最低1年～2年かかるなど時間的な課題もある。
- ・また、「うちも空き家があるけど、お金がもったいないので」と放っておいても、最終的には市がやってくれるということになるので、そうはしたくないという思いもある。
- ・全国の地方行政の中でも、これに手を出したら、みんな自分で片付けなくなるのではな

いかというところもある。ほったらかしで危険な空き家をそのまま置いておくことと、税金を使って行政が手を出すことと、天秤にかけているところである。2日ほど前に、桑名市で、行政代執行で取り壊しがされた。これからは、そこまで踏み込んでいかなければ、手が付けられなくなることも十分考えられる。

- ・空き家の問題も横輪町などの山も問題になっている。空き家をつくらぬような啓発や、宅建さんに間に入ってもらい協力をしながら10数件売買が成立した例もあるので、売買や行政代執行をどんな風にしていくかも含め、空き家対策については、今後の課題とさせていただきます。

《質問・意見》

- ・国道から日赤病院までのアクセス道路について、平成31年には開通して走っているはずであった。計画当初に一之木町の付近の人に説明し、4年でできますとのことであった。しかし、こんなに遅れているにもかかわらず、その説明が全くない。
- ・町会長をしていた時に、何度も維持課にいつて確認し、町民の方には「こんなんで遅れています」「平成31年にはできます」と言っていたので、現在でも「遅れています」は言っていたが、その説明をしていただきたい。「できる」との説明を聞いていたので4年後を楽しみにしていた。
- ・桧尻川との細い道も大変危険なので、何とかしてほしいと言っていた。このことも4年後にアクセス道路ができるから、もうちょっと我慢してくださいと言われていた。アクセス道路もできない、桧尻川のもできないでは危険な状態が続いている。
- ・遅いけど少しずつは進んでいるとのことだが、いつできるのか？どこまですすんでいるのか？期待してもいいのか？説明をしていただきたい。

《回答》

- ・大変申し訳ありません。
- ・説明に行かせていただいたとき、その時はできると思っていたが、合意に絶対「NO」というところもあって色々な事情により、止まってしまっている現状なので、町会長さんも含め、一度担当から説明に行かせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

《質問・意見》

- ・こうやって言わないと説明に来てくれないのか？

《回答》

- ・説明に行かせます。

《質問・意見》

- ・商店街の活性化というなら新道、高柳ということ。曾祢町としては、高柳商店街の活性

化について心に留めておいてほしい。

- ・商店街の雨水のことは、役員が市にお願いに行っている。
- ・曾祢本通りの区画整理とか何十年來の問題が、暫くすると声が消えていってしまうというようなことがあるので、そのことについても心に留めて進展をしていただけたらと思っている。
- ・猫の苦情について、10月にも保健所の協力いただき対策を実施する。最終的には5回くらいやったら、ある程度は苦情も緩和してくるのではないかと考えている。
- ・猫の苦情は厚生学区でも多い。色々なところに協力していただき、猫の対策に取り組んでいて、少しは苦情も緩和しているのではないかと考えている。
- ・保健所の問題だと思うが、猫のことは厚生学区だけでなく各地区の問題でもあると思うので、農林や維持、環境など関係すると思うので、関係各課に協力をいただきお骨折りをいただきたい。総連合自治会とかでも出てくると思うので、よろしくをお願いします。

《回答》

- ・猫の問題は、うちの近所でもあり、猫好きの方がえさをあげる等、苦情もよく聞く話である。順次させていただきたいと思います。

《質問・意見》

- ・民生委員をしているが、独居高齢者の「ふれあい食事会」について、新型コロナウイルス感染症が大分広まってきた関係で中止をしていた。三重県下0人という日が続いており、高齢者は非常に楽しみしているものなので、9月から再開したいと考えていたが、再度、感染が広まってきた。
- ・開催して良いかどうかを、市（福祉総務課）や社協にも聞かせてもらったが、答えは「国の基準と感染症予防を十分にとっていただいたら、やっていただいても結構です」と言われたけれども、4月頃に緊急事態宣言が出されたころに比べて、現在の感染者は非常に多い。その時と比べ考えると自分としては、高齢者を集めての食事会は、出来ないと思っている。
- ・判断が各民協に任されており、非常に困っている。市は「やってもいいよ」とのことですが、とても自分の気持ちとしては高齢者を集めて開催できない。結果、悩んで9月から再び中止とさせてもらった。各民協の判断ではなく、市としての指針を示していただくと助かる。

《回答》

- ・新型コロナ対策については、国・県がガイドラインをつくっているのを参考にしている。
- ・例えば、来年の成人式をどうするか議論しており、新成人が1学年で大体1,200人で観文が1,300人なので、丁度はまるくらいの数だが、それでも結構密にならないかということで議論している。密にならないように、午前1回・昼1回・夕方1回の3回に分けて実施しようかとの案が出ている。スペースを空けて引っ付かないように、物理的に唾が飛ばない、換気をするということで対策を考えている。小学校でも、給食を机を

離して食べるなどして、更に亀山市では、席を離れたうえに一人一人に両サイドにパネルを置いて、授業や給食を行っている。

- ・物理的にこうしたなどあれば、ガイドラインだけでなく、市でも予算を付けお手伝いできることもあるので、言っていただきたい。
- ・非常に悩ましい問題であると思う。花火大会、伊勢まつりも中止になっていて、万が一でもなったらいかんということであり、恐る恐るやるのもひとつかなと考えている。

《質問・意見》

- ・成人式の方は若いからかかっても重症化する人が少ない。私たちが相手にしているのは高齢者なので、かかったら重症化して三重県下でも亡くなっている人が何人かいると聞いているので心配している。

《回答》

- ・高齢者のコミュニケーションはとても大切である。
- ・一人暮らしの高齢者は、人と交流することをすごく楽しみにしていると思うので、交流事業などでパソコンが必要ということであれば、高齢者の健康確認として賄えることがあるかもしれない。
- ・百歳訪問もリモートで実施をしたりしている状況である。

《質問・意見》

- ・本日も13時頃に、新道商店街が全部でなく一部だが川になり浸かりました。中に入ったところはなかったみたいです。水害に関しては、最初の市長の説明で非常に詳しく聞かせてもらったのでいいです。
- ・生活お助け隊の活動をしているが、介護手前の老人の方を月に数十件くらい、お助け隊で対応している。この地区は高齢者が多いので、介護の認定でこの人は認定を受けてもいいのではないかと思う方がいると、たまに感じられる。
- ・詳しくは解らないが、介護の認定などで、たまたまその人が1人の老人の方で病院に通院しているが1人で動けない。現実には息子と一緒に住んでいないが、住所が一緒であるので認定が受けられない。
- ・介護の認定を受けていて、例えば生活支援において、台所と食事をする居間が一緒になっている場所で、食事をする居間は掃除をするが台所はしないという風に、掃除できる場所が決まっているとか、対応について基準がある。お金がいますと思いますが、できれば、細かいところの規定の緩和をしていただきたい。

《回答》

- ・介護については、国の法律のなかでサービスを行っているものであるが、はざまの方のサポートをどうしていくか考える中で、現在、総合支援サービスのお手伝いを、国の制度を使って進めてもらっているので、介護認定を受ける一歩手前の方へのフォローアップの制度、サービスをもっと知っていただけるようにしていきたい。

《質問・意見》

- ・制度を利用するとややこしいし時間がかかる。
- ・厚生のお助け隊もだいぶ昔からの歴史があるが、最初は市の支援を受けてやっていたが、そうすると「何出さないかん、これ出さないかん、あれせないかん」となるので、それやったら自分らでやれるようにということでやっている。
- ・支援受けると活動しにくくなるので、受けた際の細かい規定を緩和してもらいたい。

《回答》

- ・縛りが出てくるので・・・

《質問・意見》

- ・色々と情報も入ってきているので、皆さんご苦労されているということで、ややこしい話ではなく、市長は最終的に駅前をどういう風なまちにするのか？
- ・私自身も約17年前に伊勢に帰ってきて、電車の中で「伊勢市駅です」と案内が流れた瞬間に真っ暗な伊勢市が見えて「これではだめだ」と思い、自分も駅前で生まれ育った人間としてできる範囲で活動はしているが、冒頭に市長から回答もあったように、三交さんも約20年廃墟のままであった。そういう状況から、今は建物はなくなり駅前商店街も色々お店ができて状況は一転しているが、色んな情報が携帯から、新聞から収集できる中で、いろんな人から駅前「どうなっとるん」「大丈夫」と聞かれます。
- ・いい加減な曖昧なことも言えないので、市長として、駅前をどういう街にしていくのか？考え、想いでもいいので教えていただきたい。

《回答》

- ・平成13・14年頃、伊勢に帰ってきて、その時の駅前、外宮参道の姿に愕然とした思いがある。
- ・外宮参道については、平成25年の式年遷宮を境にシャッターも開いて、コロナのことがあったので、ちょっとしんどいところもあったが良い形になってきていて、嬉しいことに、ここ5年ぐらいは土地の価格も少しずつあがってきている。
- ・駅前A地区からC地区については、これから車も自分で運転できないような超高齢社会に向け、我々の手法とすると福祉の拠点を駅前に持っていき、電車・バスの公共事業があるので、中心としてコンパクトにネットワーク化をし、住みやすい新しい駅前の活性化の形を目指していきたいという大きな気持ちである。
- ・地域の皆さんが、歩いて暮らせる環境・状況ができてくると、外宮参道から昭和通りのところまでが更に元気になって、そこを中心として全体が賑やかになって、活性化してくるという形が望ましいと思うのが1点である。
- ・それから、予算化も計画もしていないが、いずれかのタイミングで伊勢市駅の南北の自由通路を設営していきたいという気持ちがあり、試算してみると100億円弱くらいかかるが、それができると、もう少し回遊性が増えてきたりして、駅裏の顔も変わってくる

のではないかと思っている。

- ・駅前A地区からC地区の開発は、20年に一回の大きなチャンスだと考えている。事業者との調整だったり、議会のご理解をいただいたり、時間は少しかかっているが、「駅前のB地区を成就させること」「駅前に福祉の拠点をおくこと」に一生懸命汗をかいて頑張っていきたい。

《質問・意見》

- ・伊勢市駅前の鳥居のところの築山について、草がぼうぼうな状況である。すぐにでも対応できることだと思うが。

《回答》

- ・ありがとうございます。すぐ、チェックします。

《質問・意見》

- ・自治会活動、新型コロナ禍で、各自治会の会長の判断で全て止まっている、停滞している状況。
- ・再開にあたって、いつの時点で、誰が判断して「どの程度まで」「どの規模で」再開して活動していくのか悩みである。
- ・民間だが自治会なので、いろんな方の集まりで判断がつかかねる。心配なのは、地域の連携の希薄化が進んでいるのに、このまま進んでいくと、ますます地域崩壊に繋がりがかねない。考え方を伺いたい。
- ・判断を行政にと言うと、民間で判断してということになるが、事業者の場合で経済のことなら事業者が自分で判断ということだろうが、多分、自治会長は手を挙げて「今日から事業再開します」とは言わないだろうという考えである。どのように進めていったら良いか考えを伺いたい。

《回答》

- ・案件次第になってくると思う。
例えば、子ども会の活動でラジオ体操をどうするかと話をしている中で、毎日は無理やから1日おきにしようとか、防犯の見回り活動は、そのまま続けてもらっているとか、その事業の内容によって、やるべきなのか、どういう対策をするべきなのか等を話し合っていくことなので、ここまでは出来ているが、ここからはどうしたらいいかなどは、市でも、ご相談いただければサポートできることもあるので、言ってください。

《質問・意見》

- ・9月18日時点でイベント等開催基準がでて、その見直しが11月30日とあり、その基準

を基にしながら自治会でもほとんどの会が中止になっているが、まちづくりの会は来年の活動ができるかどうか？計画が立てられるのか？確かに荒海の中を進んでいるのかもしれないが、このことについても、ある程度の段階で、こうなったらある程度はこうすると示さないとズルズルとこのままでは困る。

- 厚生地区も毎年4月29日に「ふれあいまつり」を実施しているが、それをどうするか？令和3年1月1日の厚生地区自治会連合会主催の「初顔合わせ年賀会」は中止になった。
- まちは悩んでいる。死にかけている。